

関東サイエンスツアー 参加希望者への説明会

2014.5.29
総合理学部

ねらい

1. 大学や研究所、博物館等の見学を通じて、先端の**科学技術や研究に対する理解、興味・関心**を深める。
 2. **小グループによる実習**を取り入れ、**質問・発表・議論する力の育成**を図る。
- 東京大学医科学研究所
 - 筑波研究学園都市の研究所(3ヶ所から選択)
 - 日本科学未来館

参加希望者の心得

1. **科学技術や研究に対する理解、興味・関心**を深める。
⇒ツアー中は、このことに集中する。
 - ・ゲーム・娯楽品・雰囲気壊す行動は厳禁
 - ・就寝時刻・起床時刻等を厳守
2. **小グループによる実習**を取り入れ、**質問・発表・議論する力の育成**を図る。
⇒ツアー中は、**積極的な活動**を心がける。
 - ・講義中の**ウトウト**は、もってのほか！

スケジュール(時刻等未確定⇒連絡会を待て)

- 19日 7時30分頃 新神戸駅に集合完了
14時00分 東京大学医科学研究所 見学
18時頃 筑波研究学園都市に移動開始
- 20日 9時 次のいずれかで実習等
A:物質・材料研究機構
B:農業生物資源研究所
C:高エネルギー加速器研究機構
- 20時 実習報告会(班別プレゼンテーション)
- 21日 10時 日本科学未来館(15時30分頃まで)
16時40分頃 東京出発
19時40分頃 新神戸駅で解散

初日:東京大学医科学研究所

ウイルス感染分野

分科長:河岡 義裕 | 総合研究棟3階

私達は、ウイルスが疾病を引き起こす機構を解明するために、インフルエンザとエボラウイルスをモデルとして、ウイルスと宿主間のダイナミックな生命現象を、分子、細胞、個体、そして集団レベルで研究している。

教授
河岡 義裕
kawaoka@ims.u-tokyo.ac.jp
03-5449-5310



2日目:筑波研究学園都市(別紙)

- **高エネルギー加速器研究機構**の見学(加速器, Belle実験装置, 実験室等)
講義(以前は「CP対称性の破れ」・「ニュートリノ振動」)
- **物質・材料研究機構**「金属の加工硬化」「金属の低温脆性」の実験・実習
- **農業生物資源研究所**「ジーンバンク事業紹介」, 「植物種子保蔵庫の見学」, 「DNA抽出実験とゲノム研究者との交流」, 「昆虫領域研究紹介と研究者と対話・見学」。

2日目:班別研修結果の発表会

グループに分かれて

- 資料作成
- プレゼンテーション実施



3日目:日本科学未来館

午前:テーマ「エネルギー」でグループ対話

火力発電による温暖化リスクや、原発による事故リスク、どれだけのエネルギーを必要とする社会を目指すのかなどについて考え、議論を深める。

昼食後、
自由見学



大事な連絡・その他

大事な連絡

- ◆ 絶対にキャンセルしないことが、申し込みの前提。
- ◆ 費用の納入方法は、後日、決定者に伝えます。
- ◆ 夏休み中に、参加者への詳しい連絡会を実施。
- ◆ 9月にレポートを複数提出しなければならない。
- ◆ 申込書について・・・

質問